

XHEAD-2 設定トレーニング・マニュアル

本書はファームウェア「Ver.2.26」以降の製品に対応しています。

本機を初めてご利用の場合は、いきなり接続しても操作や設定などの「使い方」が分かりません。まずは、本書を読んで事前に操作や設定のトレーニングを行いましう。

設定する情報を決めておきましょう

設定は本体のボタン操作で本体液晶画面の「メニュー」、または Web ブラウザで設定できます。ここでは、ボタン操作で本体液晶画面の「メニュー」から設定を行う説明をいたします。

実際に、ボタン操作で本体液晶画面の「メニュー」から設定を行ってみましょう。
(本書は XHEAD-2 を 1 台のみ使用する場合の解説です)。

操作前に、まずお客様が設定する情報を決める必要がありますが、ここでは練習のため下記のチャンネルや地域「新設定」に設定に変更してみましょう。

XHEAD-2 の設定名	設定の意味	初期設定	新設定
Channel_Set	電波を送出するチャンネル	U13ch	U30ch
Remote_Channel	リモコンチャンネル	11ch	9ch
RemoSub_Channel	サブチャンネル	1ch	1ch
AREA_SET	地域設定	TOKYO	OSAKA

※これらの設定は説明のためのものです。実際の設定はお客様が決めていただくようお願いいたします。

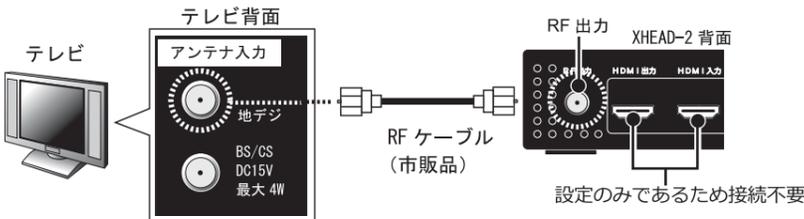
サブチャンネルを使用して複数の XHEAD-2 や地デジ放送と混合する場合

「地デジ放送 + XHEAD-2 を複数」などの組み合わせで放送波を混合する場合は空きチャンネルが限られるため、サブチャンネルを使用しますが、この場合「地域設定 (AREA_SET)」の設定を、各 XHEAD-2 の個体で特殊な設定を行う必要があります。これらの設定方法は本書では記載していません。恐れ入りますが弊社 Web ページで公開しているアドバイス資料 (PDF) を、ダウンロードして参照してください (説明が多岐に及びますので、お電話での「やりかた」のお問い合わせはご遠慮ください)。

Rev. 2021080401

接続：設定するときは「テレビに直結」しましょう

お客様の都合により、複数の XHEAD-2 を混合したり、地デジ放送と混合するかもしれませんが、練習・実務に関わらず、「XHEAD-2 の設定を行う際」は「正しく設定できているかどうかを確認するため」に必ずテレビと XHEAD-2 を RF ケーブルで 1 対 1 で接続することをお勧めしています。



混合が必要な場合は、正しく表示や設定ができた後に、混合作業 (複雑な接続) を行うよう、お願いいたします。

STEP 0 はじめて起動したとき

AC アダプターを電源に接続し、本体の「電源ボタン」を押して XHEAD-2 を起動してください。初めて電源を接続し起動した際は、テレビ画面や本体の液晶画面に以下の様なメッセージが表示されます。

参考：テレビに表示されているメッセージ「XHEAD-2 使用上のご注意」は、テレビのチャンネルスキャン (STEP5) を行えば見ることができます。

XHEAD-2 使用上のご注意
本機は使い方を誤ると公共の電波やテレビシステム、著作権に関わる重大な問題を発生させる恐れがあります。以下の項目をご確認いただき、同意した上でご利用ください。
・取扱説明書をお読みいただき、正しい設定でお使い下さい。
・アンテナを接続し、電波を送出してはいけません。
・著作権に問題がないか事前に確認した映像をご利用ください。
・HDCP 保護のある HDMI 映像は録画できません。
OK ボタンで同意し、次に進みます。

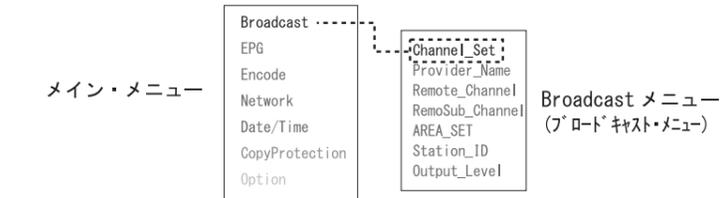
Please Watch TV
If agree OK key

この内容は、XHEAD-2 をご利用いただくうえでご理解いただかなければいけない事項ですので、本体の「OK」ボタンを押してください。

STEP1 へ

STEP 1 放送波を送出する UHF 帯、ケーブルテレビ帯 (CATV) のチャンネルを設定する

放送波を送出するためのチャンネルは「Channel_Set」で設定します。「Channel_Set」はメイン・メニューの「Broadcast」内にあります。



XHEAD-2 本体前面の液晶画面をご覧ください。現在はメニューを表示していない状態とします。

CH: 13 D: 111
0x 0i 0

「メニュー」ボタンを押す。

Broadcast
OK ティーサフメニュー

液晶画面にメイン・メニューの先頭にある Broadcast (ブロードキャスト) が表示されます。

「OK」ボタンを押す。

Channel_Set
(U13)

液晶画面に「Channel_Set」の項目が表示されます。

「OK」ボタンを押す。

Channel_Set
<U13>

「<」または「>」ボタンを押して放送波を送出するチャンネルを選択します。

Channel_Set
<U30>

「OK」ボタンを押す。

「MENU」ボタンを 2 回押します (メニューを終了します)。

Upload
Cancel

「Upload」の項目が表示されます。カーソルの矢印「→」が「OK」を選択していることを確認します。

「OK」ボタンを押す。

「MENU」ボタンを 2 回押します (メニューを終了します)。

Upload
Cancel

「Upload」の項目が表示されます。カーソルの矢印「→」が「OK」を選択していることを確認します。

「OK」ボタンを押す。

「MENU」ボタンを 2 回押します (メニューを終了します)。

UP

「Upload」が実行され、変更した設定内容が送出に反映されます。「Channel_Set」の作業は完了です。「メニュー」も終了しています。

CH: U30 D: 111
0x 0i 0

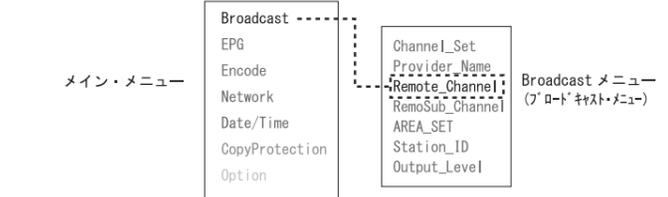
設定が正しく変更されていることを確認してください。

STEP2 へ

STEP 2 リモコンチャンネル (テレビに表示されるチャンネル番号) を設定する

地デジでは各地域ごとに、12 放送局の UHF 周波数 (13 ~ 62 のうち 12 個) が割り当てられており、その範囲内でテレビが放送されています (XHEAD-2 は、12 放送局の中の 1 つの放送局ということになります)。1 ~ 12 の放送局は、それぞれリモコンの 1 ~ 12 のボタンと連動しており、ユーザーは UHF の周波数チャンネルを意識することなく、1 ~ 12 のボタンでチャンネルを簡単に選局・確認することができます。このリモコン・ボタンの番号 (実際にテレビ画面に表示されるチャンネル番号) は「Remote_Channel」で設定します。

「Remote_Channel」はメイン・メニューの「Broadcast」内にあります。



XHEAD-2 本体前面の液晶画面をご覧ください。

現在はメニューを表示していない状態とします。

「メニュー」ボタンを押す。

Broadcast
OK ティーサフメニュー

液晶画面にメイン・メニューの先頭にある Broadcast (ブロードキャスト) が表示されます。

「OK」ボタンを押す。

Remote_Channel
(11)

「△」または「▽」ボタンを操作して Broadcast (ブロードキャスト) メニューの中から「Remote_Channel」の機能を選択します。

「OK」ボタンを押す。

Remote_Channel
<11>

「<」または「>」ボタンを押して放送波を送出するチャンネルを選択します。

Remote_Channel
<9>

「OK」ボタンを押す。

「MENU」ボタンを 2 回押します (メニューを終了します)。

Remote_Channel
<9>

「OK」ボタンを押す。

Remote_Channel
<9>

「MENU」ボタンを 2 回押します (メニューを終了します)。

Upload
Cancel

「Upload」の項目が表示されます。カーソルの矢印「→」が「OK」を選択していることを確認します。

「OK」ボタンを押す。

「MENU」ボタンを 2 回押します (メニューを終了します)。

Upload
Cancel

「Upload」の項目が表示されます。カーソルの矢印「→」が「OK」を選択していることを確認します。

「OK」ボタンを押す。

「MENU」ボタンを 2 回押します (メニューを終了します)。

UP

「Upload」が実行され、変更した設定内容が送出に反映されます。「Remote_Channel」の作業は完了です。「メニュー」も終了しています。

CH: U30 D: 091
0x 0i 0

設定が正しく変更されていることを確認してください。

メニュー終了時に「Upload を OK した場合」は、画面右端に「UP」の文字が表示されます。「UP」の文字が消えると転送完了です。※メイン・メニューの最下部にある「Upload」機能を使用した際は、メニュー使用中であるため「UP」は表示されません。

STEP3 へ

STEP 3 サブチャンネルを設定する（必要な場合のみ。不要な場合はSTEP4へ）

XHEAD-2を複数混合する場合で、リモコンチャンネルの空きが少ない場合のみ設定
 サブチャンネル（RemoSub_Channel）はXHEAD-2を複数使用して混合する場合で、同じリモコンチャンネルを
 枝番で使用する場合に設定します。「1台」目のXHEAD-2は必ず「1」です。「2台目以降」のXHEAD-2に対
 しては「2～8」を順番に設定してください。
 ※XHEAD-2を「1台」しか使用していない場合は、サブチャンネルは必ず「1」に設定してください。

サブチャンネルは「RemoSub_Channel」で設定します。
 「RemoSub_Channel」はメイン・メニューの「Broadcast」内にあります。

メイン・メニュー

- Broadcast
- EPG
- Encode
- Network
- Date/Time
- CopyProtection
- Option

Broadcastメニュー
(ブロードキャストメニュー)

- Channel_Set
- Provider_Name
- Remote_Channel
- RemoSub_Channel
- AREA_SET
- Station_ID
- Output_Level

XHEAD-2本体前面の液晶画面をご覧ください。
現在はメニューを表示していない状態とします。

「メニュー」ボタンを押す。

液晶画面にメイン・メニューの先頭にある Broadcast(ブロードキャスト)が表示されます。

「OK」ボタンを押す。
Broadcast(ブロードキャスト)階層のメニューを選択できるようになります。

「△」または「▽」ボタンを操作して Broadcast(ブロードキャスト)メニューの中から「RemoSub_Channel」の機能を選択します。

「OK」ボタンを押す。

「RemoSub_Channel」の項目が操作できるようになります。
 ※XHEAD-2を複数台混合する場合は、他のXHEAD-2と重ならないサブチャンネルを設定します。
 「表1」「表2」で確認します。
 ※他のXHEAD-2以外の地デジ放送やOFDMに対してサブチャンネルを追加することはおやめください。

「◀」または「▶」ボタンを押して放送波を送出するチャンネルを選択します。
 ※XHEAD-2が1台しかない場合は、サブチャンネルは「1」固定で問題ありません。
 サブチャンネルは、XHEAD-2を複数使用して混合する場合で、なおかつ、利用できる空きチャンネルが少ない場合にのみ設定を変更してください。
 ここではサブチャンネル「1」を選んでみましょう。

「OK」ボタンを押す。

「MENU」ボタンを2回押します（メニューを終了します）。

「Upload」の項目が表示されます。
 カーソルの矢印「→」が「OK」を選択していることを確認します。
 ※OFDM ICの機能が変更される際はICへ設定を転送するため、メニュー終了時に必ずUploadが表示されます。
 ※「Upload」は設定が変更された場合のみ必要な操作です。
 ここでは設定を「1」から変更してないため、「Upload」は表示されません。

「OK」ボタンを押す。

「Upload」が実行され、変更した設定内容が送出に反映されます。
 「RemoSub_Channel」の作業は完了です。
 「メニュー」も終了しています。

メニュー終了時に「UploadをOKした場合」は、画面右端に「UP」の文字が表示されます。
 「UP」の文字が消えると転送完了です。
 ※メイン・メニューの最下部にある「Upload」機能を使用した際は、メニュー使用中であるため「UP」は表示されません。

設定が正しく変更されていることを確認してください。

STEP 4 地域を設定する

放送波を送出するためのチャンネルは「AREA_SET」で設定します。
 「AREA_SET」はメイン・メニューの「Broadcast」内にあります。
 参考：XHEAD-2を1台しか使用しない場合は「お客様が今居る地域」を設定してください。

メイン・メニュー

- Broadcast
- EPG
- Encode
- Network
- Date/Time
- CopyProtection
- Option

Broadcastメニュー
(ブロードキャストメニュー)

- Channel_Set
- Provider_Name
- Remote_Channel
- RemoSub_Channel
- AREA_SET
- Station_ID
- Output_Level

XHEAD-2本体前面の液晶画面をご覧ください。
現在はメニューを表示していない状態とします。

「メニュー」ボタンを押す。

液晶画面にメイン・メニューの先頭にある Broadcast(ブロードキャスト)が表示されます。

「OK」ボタンを押す。
Broadcast(ブロードキャスト)階層のメニューを選択できるようになります。

「△」または「▽」ボタンを操作して Broadcast(ブロードキャスト)メニューの中から「AREA_SET」の機能を選択します。

「OK」ボタンを押す。

上段の AREA_SET が表示されていた部分に地域名が表示され、地域を変更できる状態になります。

「△」または「▽」ボタンを操作して、設定したい地域を選びます。
 ここでは「OSAKA(大阪)」を選んでみましょう。

＜重要＞

XHEAD-2を一台のみ使用している場合は、地域設定は必ず受信機（テレビやビデオ・レコーダーの設定）と同じになるよう設定してください。

「OK」ボタンを押す。

液晶画面の「OK」の文字が「()」で囲まれ「(OK)」と表示されます。

「MENU」ボタンを1回押して、「AREA_SET」の地域が「OSAKA」に変化していることを確認します。

次ページへ

「MENU」ボタンを2回押します（メニューを終了します）。

「Upload」の項目が表示されます。
 カーソルの矢印「→」が「OK」を選択していることを確認します。
 ※OFDM ICの機能が変更される際はICへ設定を転送するため、メニュー終了時に必ずUploadが表示されます。

「OK」ボタンを押す。

「Upload」が実行され、変更した設定内容が送出に反映されます。
 「AREA_SET」の作業は完了です。
 「メニュー」も終了しています。

メニュー終了時に「UploadをOKした場合」は、画面右端に「UP」の文字が表示されます。この「UP」の文字が消えると転送完了です。
 ※メイン・メニューの最下部にある「Upload」機能を使用した際は、メニュー使用中であるため「UP」は表示されません。

＜設定した状態を確認してみよう＞

念のため、下記の操作で設定した状態を確認してみよう。

メニュー表示していないときに「◀」ボタンを押す。

本体液晶画面の表示

CH: U30 D: 091
0x 0i 0



STEP 5 テレビ（受信機）のチャンネル・スキャンを行う

XHEAD-2の設定作業後は、必ず「テレビ（受信機）」のチャンネル・スキャンを行ってください。
 チャンネルや地域に関わる設定を変更した場合は、必ずチャンネル・スキャンが必要となります。
 チャンネルスキャンする場合は、必ず「全チャンネルのスキャン」または「初期スキャン」などで、UHFのすべてのチャンネルをスキャンするようにしてください（絶対に「チャンネルの追加」ではスキャンしないでください）。
 スキャンが正しく終了すれば、チャンネルや放送局名を確認することができます（何も表示されない、または「放送が見つかりません」などの場合は、設定を見直してください）。
 テレビ（受信機）側のメニューやスキャン操作を終了し、リモコンの「9」ボタンを押すとXHEAD-2の「カラーバー」が表示されているはずですが、最後に、XHEAD-2のHDMI入力端子に映像機器（Blurayプレーヤーなど）の信号を入力し、正しく送出できるか確認しておきましょう。

リモコン	CH	放送局名	種類
1	----		
2	----		
3	----		
4	----		
5	----		
6	----		
7	----		
8	----		
9	091	MyStation	テレビ
10	----		
11	----		
12	----		

※この表は、テレビでチャンネルをスキャンした際のスキャン結果です。表示はテレビの機種やメーカーによって表示されたときの項目やデザインが異なります。
 ※XHEAD-2の「Option」-「Color_Bar」の設定を「Off」に設定している場合はRF信号が送出されないため、XHEAD-2のHDMI入力端子に映像信号を入力してから、チャンネル・スキャンを行ってください。

地デジ放送では「日時設定」が必須です

地デジの運用においては、「日時設定」がたいへん重要となります。
 (特に、地デジ放送と混合する予定がある場合、設定を省略することはできません)。
 実際に運用する際は、お手数ですが、XHEAD-2に「ボタン電池」を挿入した後、日時を正しく設定してください。なお、できるだけ正確な「時刻設定」を維持するため、LANを使用してインターネット上のNTPサーバー（常時接続）を利用することを強く推奨します。

設定を工場出荷時の設定に戻すには？

もし、設定を最初からやり直したい、または今回はトレーニングなので設定を元に戻したい、という場合はメニューの「Option」内に「All_Reset」という機能がありますので、こちらを利用して、設定を初期化してください（日時設定は電池と通電があるかぎり、初期化はされません）。

正しく電源を操作する、正しくACアダプターを取り外す

XHEAD-2はパソコンと同様にプログラムや設定データを記憶するフラッシュメモリにFATシステムを採用しています。このため動作中にACアダプターを取り外したり、電源タップなどで外部から電源を切る（停電も含む）、記憶領域や管理領域が破損し、その後正常に動作しなくなる場合があります。電源を操作するときは、必ず本体前面の「電源ボタン」を使用してください。電源ランプが「待機（赤色、またはオレンジ色）」の時は、通電を止めたりACアダプターを取り外しても問題ありません。

＜参考＞

「XHEAD-2を複数」の組み合わせで、放送波を混合する場合は、特殊な地域設定を行う必要があります。これらの設定方法は本書では記載していません。恐れ入りますが弊社Webページで公開しているアドバイス資料（PDF）を、ダウンロードして参照してください。

